

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3118852号
(U3118852)

(45) 発行日 平成18年2月9日(2006.2.9)

(24) 登録日 平成18年1月18日(2006.1.18)

(51) Int. Cl. F I
A 4 5 C 1/02 (2006.01) A 4 5 C 1/02 Z
A 4 7 G 25/82 (2006.01) A 4 7 G 25/82

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2005-9931 (U2005-9931)
 (22) 出願日 平成17年11月25日(2005.11.25)

(73) 実用新案権者 305058999
 黒木 克則
 埼玉県越谷市千間台東1丁目17番地25
 (74) 代理人 100074251
 弁理士 原田 寛
 (72) 考案者 黒木 克則
 埼玉県越谷市千間台東1丁目17番地25

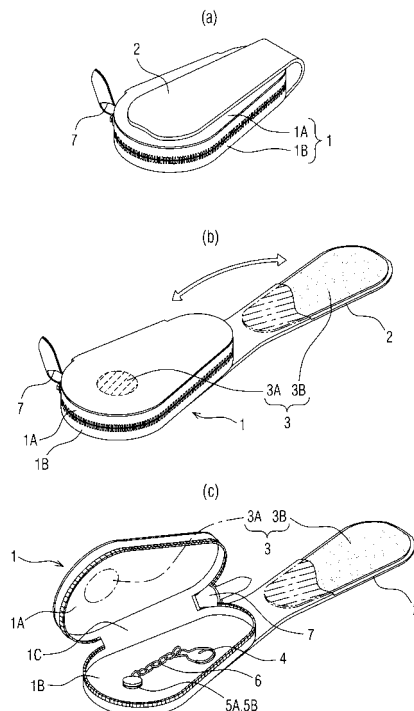
(54) 【考案の名称】 靴べら付携帯式小物入れ

(57) 【要約】

【課題】 キーホルダーの如き小物入れと靴べらとを一体化すると共に靴べらをキーホルダー側に折り畳み固定可能とし、さらに小銭等の貨幣入れ兼用として使用可能にする。

【解決手段】 キーP、貨幣その他を收容可能とするスライドファスナー開閉構造の收容ケース体1と、該收容ケース体1に連設した靴べら2とから成る。該靴べら2を收容ケース体1側に折り畳み保持可能とする固定手段3を設ける。固定手段3は靴べら2に内装した帯磁可能な彎曲している保形板材3Bと、收容ケース体1内に付設した磁石3Aとの磁気吸着力によるものとする。また收容ケース体1内には、收容したキーPを保持するための保持リング4を備え、該保持リング4は收容ケース体1内に対し着脱可能なボタン(5A, 5B)によって取り付けたストラップチェーン6に連繋して成る。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

キー、貨幣を収容可能とするスライドファスナー開閉構造の収容ケース体と、該収容ケース体に連設された靴ペラとから成り、該靴ペラを収容ケース体側に折り畳み保持可能とする固定手段を設けたことを特徴とする靴ペラ付携帯式小物入れ。

【請求項 2】

固定手段は、靴ペラに内装した帯磁可能な彎曲している保形板材と、収容ケース体内に付設した磁石との磁気吸着力によるものとした請求項 1 記載の靴ペラ付携帯式小物入れ。

【請求項 3】

収容ケース体内には、収容されるキーを保持する保持リングを備え、該保持リングは、収容ケース体内に着脱可能なボタンによって取り付けられたストラップチェーンに連繫されて成る請求項 1 または 2 記載の靴ペラ付携帯式小物入れ。

10

【請求項 4】

靴ペラの基部あるいは収容ケース体には、吊り下げ具を連繫してある請求項 1 乃至 3 記載の靴ペラ付携帯式小物入れ。

【請求項 5】

キー、貨幣を収容可能とするスライドファスナー開閉構造の収容ケース体と、該収容ケース体に連設された靴ペラとから成り、該靴ペラは、収容ケース体側に折り畳み可能として靴ペラ自体に内装した帯磁可能な彎曲している保形板材を、収容ケース体内に付設した磁石に磁気吸着力によって固定する固定手段によって収容ケース体に保持可能にすると共に、収容ケース体内には、収容されるキーを保持する保持リングを備え、該保持リングは、収容ケース体内に着脱可能なボタンによって取り付けられたストラップチェーンに連繫し、靴ペラの基部あるいは収容ケース体には、吊り下げ具を連繫してあることを特徴とする靴ペラ付携帯式小物入れ。

20

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、キー、小銭等の貨幣その他を収納させる携帯可能な小型の小物入れと靴ペラとを一体化させて成る靴ペラ付携帯式小物入れに関する。

【背景技術】

30

【0002】

従来から携帯用の靴ペラは、外出先等で靴を履くときに至便であるため持参携帯されている。ただこの携帯型のものは小型であること、靴を履くときにしか使用されないこと等のために紛失しやすい。そのため、必要時に携帯していなかったり、収納していた靴その他から取り出せなかったりすることもあった。このような現状から、一般的には常時携帯している例えばキーホルダー等にストラップを介して靴ペラを連結させて携帯可能とすることが往々にしてある。

【特許文献 1】特になし**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】**

40

【0003】

しかしながら、靴ペラをキーホルダーに連結させて携帯する場合には、靴ペラ使用時に、キーホルダーに裸の状態ではぶら下げられている複数のキーが邪魔になって使いづらいものとなる。また、靴ペラ使用時に、キーホルダーから当該靴ペラをいちいち取り外すのでは非常に面倒でもある。

【0004】

そこで本考案は叙上のような従来存した諸事情に鑑み案出されたもので、キーを収容するキーホルダーとなる小物入れと靴ペラとを一体化させると共に、靴ペラ使用時にはキーによって邪魔されることなく靴ペラを使用可能とし、しかも携帯時もしくは靴ペラを使用せずにキーを使用する時には、当該靴ペラをキーホルダー側に折り畳み固定可能とし、さ

50

らに小銭等の貨幣入れ兼用としても使用可能にした靴ペラ付携帯式小物入れを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上述した課題を解決するため、本考案にあっては、キーP、硬貨等の貨幣を収容可能とするスライドファスナー開閉構造の収容ケース体1と、該収容ケース体1に連設された靴ペラ2とから成り、該靴ペラ2を収容ケース体1側に折り畳み保持可能とする固定手段3を設けたものである。

固定手段3は、靴ペラ2に内装した帯磁可能な彎曲している保形板材3Bと、収容ケース体1内に付設した磁石3Aとの磁気吸着力によるものとして構成することができる。

収容ケース体1内には、収容されるキーPを保持する保持リング4を備え、該保持リング4は、収容ケース体1内に着脱可能なボタン(5A, 5B)によって取り付けられたストラップチェーン6に連繫されて成るものとする。

また、靴ペラ2の基部あるいは収容ケース体1には、吊り下げ具10を連繫して構成することができる。

【0006】

以上のように構成された本考案に係る靴ペラ付携帯式小物入れにあって、固定手段3は、靴ペラ2を収容ケース体1側に折り畳んだ際に、靴ペラ2内の保形板材3Bを、収容ケース体1内に付設した磁石3Aに吸着保持させ、靴ペラ2を収容ケース体1と一体化させる。

彎曲している保形板材3Bは、靴ペラ2を使用するときには靴踵部内に使用者の踵をスムーズに案内挿入させる。

また、ストラップチェーン6は、ボタン(5A, 5B)を介して収容ケース体1内に取り付けられ、保持リング4は、ストラップチェーン6に連繫され、所定数のキーPを連結保持させる。

また、吊り下げ具10にてバッグや鞆等の他物品Rに取付可能にさせ、このときには収容ケース体1内にストラップチェーン6でキーPを保持し、小銭等の貨幣を収納させる。

【考案の効果】

【0007】

本考案によれば、キーホルダー、小銭入れ等となる収容ケース体1と靴ペラ2とを一体化させることで靴ペラ2の携帯持参を容易にし、その紛失をも防止する。また、靴ペラ2使用時にはキーPによって邪魔されることなく、彎曲している保形板材3Bによって靴ペラ2を容易に使用可能とする。しかも携帯時もしくは靴ペラ2を使用せずにキーPを使用するときには、当該靴ペラ2を収容ケース体1側に折り畳み固定しておけば邪魔にならず、さらに貨幣入れ兼用として使用可能で便利である。

【0008】

すなわちこれは本考案が、キーP、貨幣を収容可能とするスライドファスナー開閉構造の収容ケース体1に連設された靴ペラ2を、当該収容ケース体1側に折り畳み保持可能とする固定手段3を設けたからであり、これにより、靴ペラ2使用時にはキーPは収容ケース体1内に収容されているため、キーPによって邪魔されることなく靴ペラ2を容易に使用可能とする。

【0009】

また、携帯時もしくは靴ペラ2を使用せずにキーPを使用する時には、当該靴ペラ2は、収容ケース体1側に折り畳まれた状態で固定手段3によって保持されるため、靴ペラ2が邪魔にならず、携帯するにも嵩張らない。さらにキーPの使用には収容ケース体1を開放してキーPを取り出し使用すれば良く、貨幣等を取り出す時の収容ケース体1の開閉操作にも邪魔にならない。

【0010】

固定手段3は、靴ペラ2に内装した帯磁可能な彎曲している保形板材3Bと、収容ケー

10

20

30

40

50

ス体 1 内に付設した磁石 3 A との磁気吸着力によるものとしたので、収容ケース体 1 側へ折り込まれた靴ベラ 2 の保持固定、または収容ケース体 1 側からの靴ベラ 2 の磁着解除が簡易に行える。また、保形板材 3 B の彎曲形状は靴を履くときに靴内に踵をスムーズに案内挿入し、便利であると共に、保形板材 3 B の存在は靴ベラ 2 自体を補強させられる。

【 0 0 1 1 】

収容ケース体 1 内には、収容されるキー P を保持する保持リング 4 を備え、該保持リング 4 は、収容ケース体 1 内に着脱可能なボタン (5 A , 5 B) によって取り付けられたストラップチェーン 6 に連繫されて成るので、収容ケース体 1 内からストラップチェーン 6 を容易に取り外すことができる。また、ストラップチェーン 6 を介して保持リング 4 を収容ケース体 1 内から外出させることで、当該収容ケース体 1 を保持リング 4 を介して例えばバッグや鞆等の他物品 R に容易に取り付けることもできる。

10

【 0 0 1 2 】

さらには、靴ベラ 2 の基部あるいは収容ケース体 1 に吊り下げ具 1 0 を連繫してあるので、この吊り下げ具 1 0 によって例えばバッグや鞆等の他物品 R に簡単に吊り下げ保持させておくことができる。このとき、固定手段 3 によって収容ケース体 1 に靴ベラ 2 が一体化されていることと相俟ち、収容ケース体 1 自体の装飾等によってキャラクター製品的にも使用できる。

【 0 0 1 3 】

尚、上記の課題を解決するための手段、考案の効果の項夫々において付記した符号は、図面中に記載した構成各部を示す部分との参照を容易にするために付した。本考案は、図面中の符号によって示された構造・形状に限定されない。

20

【考案を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 4 】

以下、図面を参照して本考案を実施するための最良の一形態を説明する。図において示される符号 1 は、例えば皮革製の靴ベラ 2 を一体連結して成る本考案の靴ベラ付携帯式小物入れを構成する例えば靴ベラ 2 と同一皮革製の収容ケース体である。該収容ケース体 1 は、図 1 に示すように、靴ベラ 2 の外形と略同じ形状を有する一側面部 1 A と他側面部 1 B とが折り返し連結部分 1 C を介して起伏・開閉自在に連設され、且つ両面部 1 A , 1 B の開放側縁部分がスライドファスナー部材 7 のスライドによって開閉可能となるように形成されている。そして、この収容ケース体 1 内には、キー P、例えば小銭等の貨幣 (図示せず) その他を収容可能としてある。

30

【 0 0 1 5 】

靴ベラ 2 は、収容ケース体 1 の他側面部 1 B の一端から延設されており、該靴ベラ 2 は一側面部 1 A 側に折り畳み可能となるようにしてある。そして、靴ベラ 2 および収容ケース体 1 は、これらの相互間に固定手段 3 を設けることで両者の折り畳み状態が保持される構成となっている。靴ベラ 2 の内部には、当該靴ベラ 2 の形態に合わせて形成された帯磁可能な例えば薄型鉄板製の彎曲している保形板材 3 B が内装されている。

【 0 0 1 6 】

また、固定手段 3 は、具体的には図 1 (b)、図 1 (c) に示すように、収容ケース体 1 における例えば一側面部 1 A 内に付設した例えば薄型円板状の磁石 3 A に対して、保形板材 3 B が磁気吸着力によって磁着されるように構成して成る。これによって収容ケース体 1 に対する磁着作用で靴ベラ 2 の折り畳み状態が保持される。

40

【 0 0 1 7 】

尚、その他の固定手段 3 として、例えば靴ベラ 2 と収容ケース体 1 の他側面部 1 B との連設部分に、両者が閉じられる方向に付勢させるためのヒンジ状の保形材 (図示せず) を内装することで、両者の折り畳み状態が常時保持される構成とするようにしても良い。

【 0 0 1 8 】

また、収容ケース体 1 の一側面部 1 A または他側面部 1 B のいずれか一方の内側には、例えば雌側ボタン 5 A が付設されており、ストラップチェーン 6 の一端に取り付けた雄側ボタン 5 B を当該雌側ボタン 5 A に嵌め込むことで、ストラップチェーン 6 自体が収容ケ

50

ース体 1 内に着脱可能となるように連結されるものとしてある。

【0019】

そしてストラップチェーン 6 の他端には、収容ケース体 1 内に収容されるキー P の摘み側に形成されている孔部 Q に挿入して当該キー P を保持するための例えば細線材製の複重リング型の保持リング 4 が連繫されている。すなわち、この保持リング 4 における自由端部分を強制的に開放し、その自由端にてキー P の孔部 Q と係合し、キー P を保持するものとしてある。

【0020】

図中符号 10 は吊り下げ具であり、例えば靴ペラ 2 の基部に連繫されている。図 3 にあつての吊り下げ具 10 は靴ペラ 2 の基部に開穿した、鳩目材で補強された連繫孔 9 に挿通したリング 11 にカラビラ部材 12 を連結して成る。カラビラ部材 12 における弾発的に開閉する開閉部によってバッグ、鞆等の他物品 R に取り付けできるようにしてある。尚、図示を省略したがリング 11 とカラビラ部材 12 とはチェーン材、紐材その他を介して連結しても良い。

10

【0021】

また、この吊り下げ具 10 は、図 4 に示すように収容ケース体 1 の例えば他側面部 1 B の外側面に連結固定することもでき、例えばチェーン材、紐材その他を介して連繫したリング部材、カラビナ部材等とする。あるいは図示を省略したが、収容ケース体 1 内に連結しておいて、ほぼ閉塞したスライドファスナー部材 7 の閉塞端部分から外出される構成とすることもできる。

20

【0022】

次に、以上のように構成された最良の形態についての使用の一例について説明する。先ず、収容ケース体 1 をキーホルダーとして使用する場合には、図 1 (b) に示すように固定手段 3 による磁気吸着力に抗して収容ケース体 1 に対して靴ペラ 2 を起こすように開いた状態にし、次いで図 1 (c) に示すようにスライドファスナー部材 7 をスライドして収容ケース体 1 の一側面部 1 A、他側面部 1 B 相互を開放させる。一方、図 2 に示すようにストラップチェーン 6 一端の雄側ボタンを、収容ケース体 1 の雌側ボタンに予め嵌め込むことで、ストラップチェーン 6 自体を収容ケース体 1 内に連結しておいてある。そして、ストラップチェーン 6 他端にある保持リング 4 の自由端部分を開いてキー P の摘み側の孔部 Q によって係合し、収容ケース体 1 内に入れておく。次いでスライドファスナー部材 7 をスライドして収容ケース体 1 の一側面部 1 A と他側面部 1 B とを相互に閉止し、収容ケース体 1 を閉じることでキー P を収容する。

30

【0023】

キー P の使用時には、このスライドファスナー部材 7 をスライドして収容ケース体 1 を開放させ、収容ケース体 1 から取り出したキー P をストラップチェーン 6 に繋がれているままの状態でも使用可能とする。このとき、収容ケース体 1 に対して靴ペラ 2 は開いた状態あるいは閉じた状態のいずれでも良い。

【0024】

靴ペラ 2 を使用する場合には、図 1 (b) に示すように固定手段 3 による磁気吸着力に抗して収容ケース体 1 から靴ペラ 2 を起こすように開いた状態にしてから使用する。一方、靴ペラ 2 を使用しない場合には、図 1 (a) に示すように収容ケース体 1 側に靴ペラ 2 を折り畳み、固定手段 3 による磁気吸着力によって収容ケース体 1 側に靴ペラ 2 を保持固定して携帯すれば良い。

40

【0025】

また、図 3 に示すように収容ケース体 1 を例えばバッグや鞆等の他物品 R に取り付けることができる。この場合には、吊り下げ具 10 におけるカラビラ部材 12 の開閉部の開閉で他物品 R の連結リング部等に係合して取り付ければ良い。

【0026】

あるいは、図 4 に示すように収容ケース体 1 の他側面部 1 B に連結してある吊り下げ具 10 によってバッグや鞆等の他物品 R に取り付けても良い。

50

【 0 0 2 7 】

また、収容ケース体 1 を貨幣入れとして使用するときには、必要があればストラップチェーン 6 の雄側ボタン 5 B を収容ケース体 1 の雌側ボタン 5 A から抜脱して当該ストラップチェーン 6 を取り除いておく。そして収容ケース体 1 内に必要なだけの硬貨、紙幣等の小銭その他の貨幣を入れて、スライドファスナー部材 7 をスライドし閉じてから携帯すれば良い。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 8 】

【 図 1 】本考案を実施するための最良の形態における靴ペラ付携帯式小物入れの一例を示すもので、(a) は収容ケース体側に靴ペラを折り畳み保持固定した状態の斜視図、(b) は収容ケース体から靴ペラを起こし、開いた状態にした一部切欠斜視図、(c) はスライドファスナー部材をスライドして収容ケース体を開いた状態の一部切欠斜視図である。

10

【 図 2 】同じく収容ケース体の一側面部または他側面部のいずれか一方の内側に設けた雌側ボタンに、ストラップチェーン一端の雄側ボタンを嵌め込む状態を示す一部切欠斜視図である。

【 図 3 】同じくバッグ等の他物品に吊り下げ使用した場合の斜視図である。

【 図 4 】同じく吊り下げ使用時の他の使用例を示す斜視図である。

【 符号の説明 】

【 0 0 2 9 】

P ... キー

Q ... 孔部

20

R ... 他物品

1 ... 収容ケース体

1 A ... 一側面部

1 B ... 他側面部

1 C ... 折り返し連結部分

2 ... 靴ペラ

3 ... 固定手段

3 A ... 磁石

3 B ... 保形板材

4 ... 保持リング

5 A ... 雌側ボタン

5 B ... 雄側ボタン

6 ... ストラップチェーン

7 ... スライドファスナー部材

9 ... 連繋孔

1 0 ... 吊り下げ具

1 1 ... リング

1 2 ... カラビラ部材

30

